県陸上の申し込みで、楽をしよう

郡市の大会で、マットシステムを利用していると県の申し込みが楽になるようにしました。

以下、そのやり方を記載します。

郡市大会で使われている学校名やリレーチーム名が県大会と同じなら、問題なく使えます。違う場合は、「syori」のタブで関連付けの作業をしてください。やり方は後述します。

例　前橋大会名「総　社」　県大会名　前・総社　→名前が違うので×

# １．郡市大会のデータのCSVを出力する

## 大会データを読み込む。



システム・メンテナンスをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

パスワード入力　パスワードは「z\x/c.」



データのリストアをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, メール

自動的に生成された説明

郡市の大会のバックアップデータを選択

## CSV出力



リストア後、競技会リストをクリック



記録・番組情報CSV出力をクリック

テキスト

自動的に生成された説明

上記の設定で、CSVを吐き出す。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル

中程度の精度で自動的に生成された説明

デフォルトだと、txt形式で吐き出そうとするので、csvに変えるのを忘れないようにしましょう。

## 申し込みファイル作成

を開く。



表紙のタブで、必要データを記入する。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

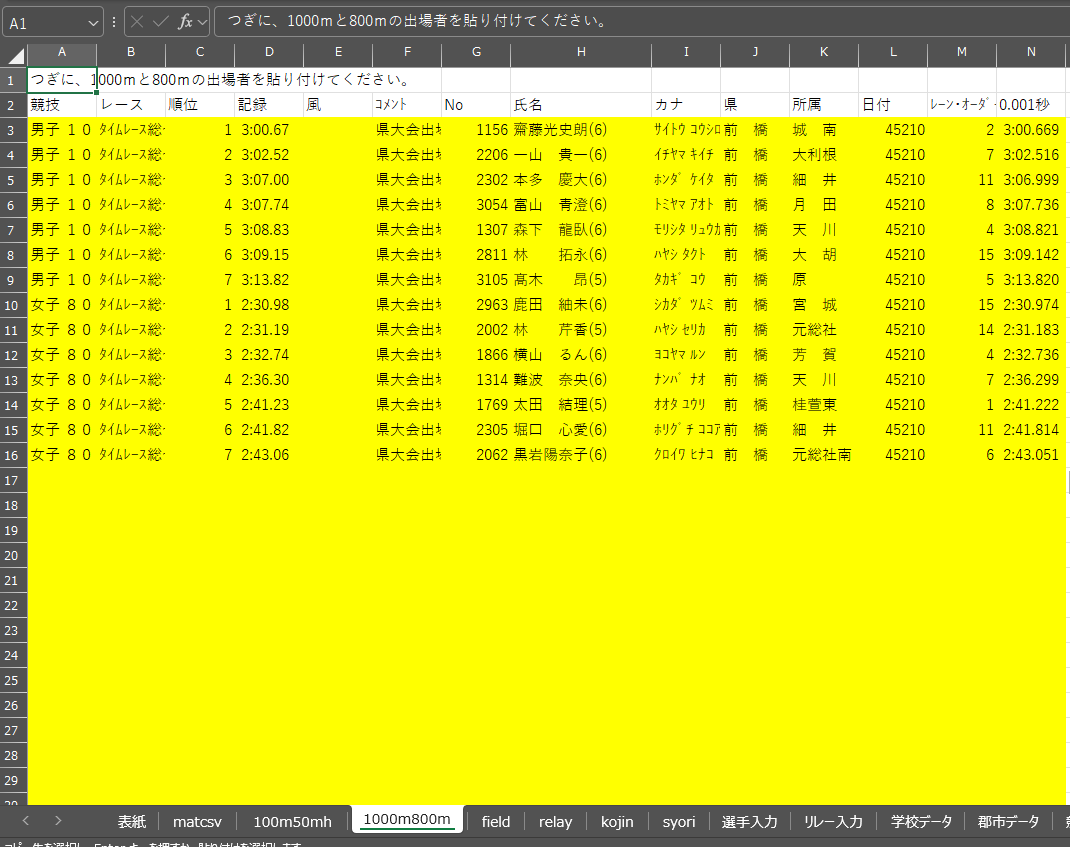
自動的に生成された説明

matcsvタブに、さっき吐き出したCSVデータを値貼り付けして、フィルターで県大会出場者のみを表示する。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル, Excel

自動的に生成された説明

100m50mhタブに、100mと50mhの出場者を値貼り付けする。



同様に、1000m800mも貼り付け。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル, Excel

自動的に生成された説明

同様に、フィールと種目も貼り付け。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル, Excel

自動的に生成された説明

ここまで出来たら、フィールドのタブの画面で右に移動して、個人種目登録ボタンをクリックする

テーブル, タイムライン

自動的に生成された説明

というメッセージが出たらOK。次にリレーのデータを貼り付ける。

テキスト

中程度の精度で自動的に生成された説明

リレー出場チームの4人目までのフリガナまで貼り付ける。

テーブル

自動的に生成された説明

そのまま画面を右に移動して、マクロ起動ボタンをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明

このメッセージが出ればOK。ただし、補員は手動入力になります。

# ２．郡市大会と県大会で学校名とリレーチーム名が違う場合の処理

## マクロを使って、シートの保護を解除する

表示→マクロ→マクロの表示→「hogokaijo」を実行する。



グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

## 「syori」タブに細工を加える

マットシステムから所属のデータを吐き出す。

県大会のエントリーファイルの「syori」タブに、所属データの学校名を貼り付ける。

県大会のエントリーファイルの「学校データ」タブを参考にして、県の学校コードを「syori」のBの列に関連付ける。同様に、リレー名も行う。

例えば、前橋の場合なら以下のようになります。以上です。質問は八木橋までどうぞ＼(^o^)／

